

# この街で



注:この広報誌は、地域の皆さんを対象としています。

## 第21号

発行日 平成18年10月6日(金)

発行 サポートセンター径 広報係

〒 247-0034 横浜市栄区桂台中4-5

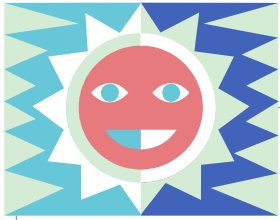
TEL045-897-1101 fax1119



鍛冶ヶ谷カトリック教会との交流会にて

- ◆P1 表紙 / 目次
- ◆P2 『デイサービス事業』
- ◆P3 『径の助っ人紹介します』
- ◆P4 『生活支援事業』
- ◆P5 『相談支援事業』

- ◆P6 『私の宝箱』『小祝貴史の祝っとこ』
- ◆P7 『にんにくの視線』
- ◆P8 お知らせ  
『新人紹介』  
『編集後記』



# デザイナー・サービス事業

## ここで築いてきた3年間の専

3年前、径に通い始めた土屋保さん。厳しい労働環境の下3ヶ所で仕事の経験を積み重ねる中で、辛い事も頑張る事もたくさん経験してきました。必死に働いても努力が報われない事や意見を聞き入れてもらえない事、周囲の人は誰も受け容れてくれないのではないかと不安になるような、やるせない気持ちを抱え、2年間の在宅期間をおいた後の事です。

そして、もう一度自分の力を発揮する場、もう一度誰かと気持ちをぶつけあう場として、径での活動が始まりました。

何よりも安心できる場となるよう活動を重ねる中で、徐々に土屋さんと仲間・スタッフとの関わりが増え、楽しい事も嫌な事も自分の気持ちを相手に伝える場面が増えてきました。また、仲間を気遣う優しい一面も見られるようになり、通所して2年目には率先して仲間のために活動する姿がありました。

### ～環境委員としての活躍～

朝一番、部屋に来るなり手袋をして環境委員の仕事に取り組む土屋さん。自分が担っているという意識がとても高く責任を持って取り組む姿はピカ1☆です。日々の活動の中で朝一番に行なうゴミ分別・廃棄の活動、この活動を通して土屋さんは日に日に自信をつけ充実感を蓄積していきました。

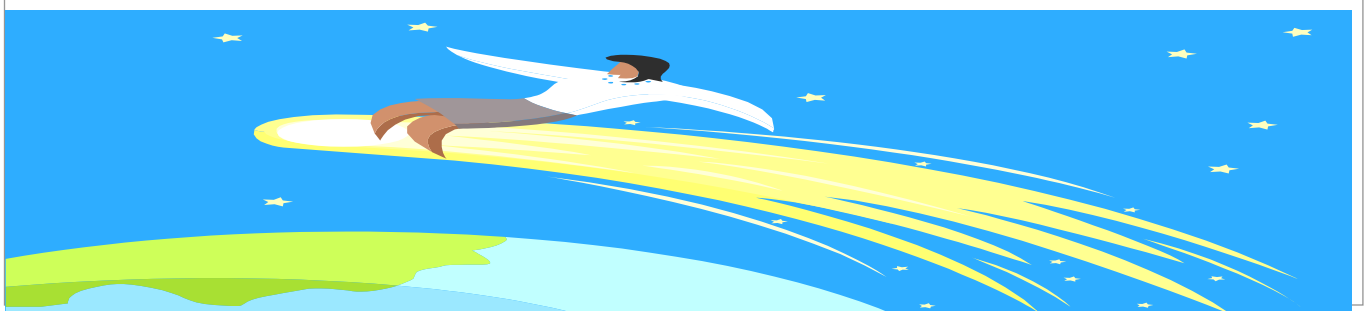
### ～より力を発揮できる場～

そして今年の春、土屋さんが更に充実感を得られ本来の力を発揮しやすい活動として、作業が主体である受注班での活動を始めました。3年間の充電期間を終え土屋さんは「仕事」を毎日の活動にしながら過ごす事を決意しました。

人間関係で苦手意識を持っていた土屋さんが人との関わりの中で安心できる自分の居場所を見出し、前向きに取り組める活動として受注班での「仕事」を選択した事は、大きな挑戦であったと思います。

周囲の人との関わりが心に変化をもたらし、信頼関係が安心感を生んだ事。安心できる環境の中で主体的に挑戦への大きな一歩が踏み出せる力が湧いた事。土屋さんの姿から、人と関わりながら生活をする事の温かさと、そのエネルギーをたくさんたくさん感じました。

(今は別のグループで少し離れた所から応援している・・・本間 裕子)





# やってるデイ!

## ★ゆめのパン玄関先販売開始★

径の館内に入らなくてもパンを購入していただけるようになりました。もちろん今までどおり館内での購入、喫茶の利用大歓迎。

☆販売日：毎週 火・木・金

☆焼きあがり時間：毎回午後2：00

ゆめのパンは大好評のメロンパンをはじめ30種類  
そのうち毎回2～3種類を販売

販売時間は午後2：00～午後5：00迄



玄関先販売担当の3人。

左から秋山さん、阿出川さん、高山さん



## 径の助っ人紹介しまーす!

鈴木栄子さん (ボランティアさん)



私は今73歳、これからは何かとお世話になる歳ですが、遅まきながら体が動くうちはお役に立ちたいと、ここを尋ねました。職員の方々が嬉々として献身的にお仕事をされていることに感動し、私も微力ながらショートステイでお手伝いさせて頂いています。最初はどうなるかと思いましたが、週一回皆さんが待っていて下さることもうれしく、生き甲斐と頑張れる活力を頂いて感謝している昨今です。(本人コメント)

毎週木曜日の朝、洗い物やお掃除を担当してもらっています。

これからもその手際の良さといっぱいの笑顔でよろしくお願ひしますね!

立花秀彦

田中 大貴さん (ボランティアさん)

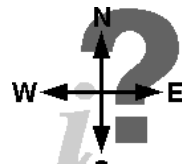


毎週水曜日、田中さんが来てくれるのを、ゆいグループの皆さんはとても楽しみにしています。「田中さんは? まだかな?」「“きよし”と一緒にズンドコ歌おう!」(あまりに良い男なので、氷川きよしのアダ名で呼ぶ人がいます) 誠実に相手と向き合ってください田中さんは、かけがえのない存在です。

径で共有する時間が、皆さんにとって大切なものになっていくことを願っています。これからも、よろしくお願ひします。浅沼太郎



# 生活支援事業

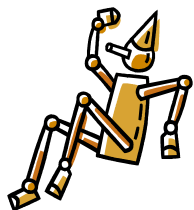


## 今年も盛りだくさんの夏プロ

今年も学齢期の方を対象に夏休みプログラムを行ないました。プログラムの一つで、東洋英和大学のボランティアサークル『カトコの会』の人形劇を披露して頂きました。このサークルは、以前径を見学に来て下さった学生さんが「人形劇ができる」と話していただき、それを聞いたスタッフが「夏休みにぜひやって欲しい」とお願いした事から立ち上げてくれたものでした。打ち合わせにもまめに足を運んでくださり、見事人形劇は大盛況！会場には径や朋からも多くの方が押し寄せ、大賑わいでした。

これまでのようにスタッフ主導ではなく、学生さんと一緒に考えて取り組んだプログラム。夏プロの新たな形を示す事ができたのではと思います。今年も灼熱の太陽の下、みんなもスタッフも元気いっぱい夏を過ごしました。

人形劇ほかまだ始めたばかりの取り組みにもさらに磨きをかけ夏プログラムはまた来年へ続きます。



橋本幸介

## ☆☆☆☆当直室から☆☆☆☆

7月9日、ショートステイで活動しているサポーター(アルバイト)を対象に、我々スタッフが講師となって内部研修を行ないました。内容は介護技術の座学と実技。普段行なっている介助方法をもう1度再確認すると言うねらいがありました。どうすれば分かりやすく伝わるだろう？試行錯誤の中、研修会の準備が始まりました。時間を見つけては勉強し、話合い、練習する。この繰り返しです。より分かりやすく、よりシンプルに…何かを人に伝える。という事がなんと難しい事か！この企画を進める過程で強く実感しました。

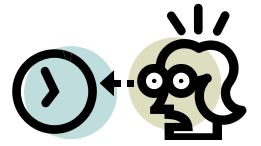
障害が特別なものではない事、一般化への取組みがいかに大切であるか、身をもって知る事になったのです。研修会の結果は好評で、「あやふやになっている部分があることに気がついた」、「改めて責任感を持って活動したい」等の感想が返ってきました。

サポーターに研修の意図がしっかりと伝わった事に安心しましたが、それ以上に、研修会を企画した我々が、よい勉強をさせてもらいました。また、嬉しい事にサポーターを含めたスタッフ間のチームワークが以前にも増してさらに良くなったのです。

立花秀彦



# 相談支援事業



～夏が終わって・・・～

夏が終わったと思ったらもうすっかり秋…。♪夏がくーれば想いだす…ではないですが、夏という季節は子どもの頃の風景がふと戻ってきたりしませんか？ 私事ですがこの夏、30数年ぶり？！に、亡くなった父がよく連れていってくれた根岸の旧・マンモスプールへ子どもたちと行きました。毎回(それだけ)買ってくれたアメリカンドッグと三角パックのコーヒー牛乳、駅への長い道のり、歩きながらまだ水に浮かんでいるような錯覚…小学生の頃の夏を感じ、何ともいえない懐かしく柔らかな気持ちになりました。

自分の話はさておき、前頁にありますように径でも学齢期の方を対象に夏のプログラムが組まれました。長い夏休みの1～2日、家族とだけでなく仲間やスタッフ・アルバイトのお兄さんお姉さんと出かけ、思い出の一つに加えられたら、という思いから企画されたものです。

夏は子どもの季節、夏休みは多くの子供たちにとって体験と成長の場。そうした子どもたちのエネルギーを感じる一方で「夏休みが怖い」というご家族の声にあるように、お母さん方の疲れも目立ち、ついにダウンしてしまい緊急で一時ケアを利用される方も何人かいました。

障害のある子にとってはただ楽しいだけの夏休みとはいえない現状が確かにあるものの、それでもやはり、例え言葉では言い表せなくてもプールの匂い、セミの声、日差しの強さ、何でもいい。五感で感じるような思い出をもって欲しい。そして、それは大人の責任であるのかもしれませんが。

7年目となる「栄区障害児サマースクール」もそうした思いから生まれたのだと思います。今年もクッキングや本郷養護学校でのプールやコンサート、おでかけや公会堂での和太鼓イベント、と暑い熱い3日間を過ごしました。

サマースクールの大きな目的は前述の「子どもたちの体験と育ちの場」ですが子供たちを中心にさまざまな年代のボランティアさんや関係機関など多くの方が集まり関わる中で何ともいえない一体感のようなものも感じられます。また、外食のメニュー決めで、担当の子が食べられない場合を考えてボランティアさん自身は別メニューを頼んだり、暑さに気を配り、その子のペースにそっと寄り添ったり、とさりげない関わりの中に人が人のことを思いやる空気がたくさん感じられ、それはとても心地よいものです。体は多少疲れても「この街って、栄区っていいな」というあたたかく清々しい気持ちが湧き「地域で子どもを育てる」というフレーズが実感として感じられるひとときでもあるのです。

最近、全市的にも展開されている障害のある子の夏休みプログラム。

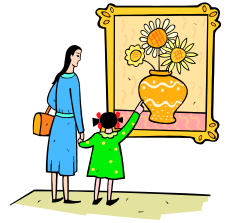
「障害のある子の休日の過ごし方」という課題はもちろん夏休みに限ったものではありませんがインパクトの強く、未来に繋がる成長の機会である夏…

その夏が「親の負担対策という一面」だけではなく、本当の意味で「子どもたちの育ちのための体験・思い出がつけられる時」となるよう大人の、そして地域の責任として、径も微力ながら今後も取り組んでいきたいと思っております。

金子恵子



# 私の宝箱



私は結婚をして、すぐ子どもが欲しく思っていました。三年半が過ぎても出来ませんでした。ある日、風邪をひき病院へ行きました。内科が混んでいたのも、子どもが出来ない話と風邪の薬だけ頂いていこうと婦人科に行くことに。やはりそこでは検査があり軽い気持ちで来てしまったのに「どうしよう？」と思いつつ全部の検査が終わり診察室から呼ばれました。診察室に入ると先生から「今六週目ですよ、もう少しつわりは続くと思います」と話がありました。思わず「誰が？何で！」と言ってしまった。先生はエコーの写真を差し出しました。待ちに待ってた赤ちゃんが写っていました。子宮の中にポツンと。涙は出なかったけど泣いちゃいそうなくらい感動したのを覚えています。それから出産日までは順調でした。しかし陣痛が始まってから36時間が経っても産まれてきません。急遽帝王切開をする事になりました。麻酔がうまく効かず注射針を10回くらい刺し、うまく入らず。急遽、局部麻酔に変わりました。心の準備が無いまま手術が始まり気絶してしまいそうな位痛かった。わたしにとって大変な手術になりました。でも無事、大きい男の子を出産、手術室から出ると母の姿があり私は「次は普通分娩が良いなあ〜」と言いました。母は「今、産まれたばかりで、もう次ぎですか？あー大変だね」と笑いながら呆れた顔でした。大変な出産だったけど、また赤ちゃんが欲しくなり、三年後女の子を授かりました。私がこれまでの人生の中で一番、感動し大変だった事を書かしてもらいました。

送迎サポーター 松尾和美

## 小祝貴史の祝っところー！！

「今回の祝っところー！！」は取材班班長こと小祝貴史さんのお誕生日です☆★

現在、径と朋で近距離恋愛中？の竹内さんがケーキを持ってきてくれ、皆でお祝いしました。ケーキにろうそくを・・・♪～Happy birthday to you～♪ハッピーバースディ トゥ ユー～♪Happy birthday dear たかしくん～♪ハッピーバースディ トゥ ユー～！！『おめでとう！！』パチパチパチ（拍手）・・・ろうそくの火もパチパチ・・・あっ！大変！たかし君「フウ～って」消すよ？隣でケーキから目を離さない明子さんも、千田さんも一緒に「せーのっ、フウ～！！」みんな優しいね（^o^）そこへ相談の職員金子さん乱入・・・優しい歌声のプレゼントが部屋の中を包み込んでくれました。

9月27日に30歳を迎えた貴史さん、どんな20代だったのでしょうか？

これから20代とは一味違う30代の素敵な大人の匂いを感じさせて下さいね☆★



### ～チームプレイ～

この夏、スポーツイベントがいくつか開催されていました。バレーボール、高校野球、そしてバスケットボールなど。なかでも、バスケットボールの中継には選手として、コーチとして存在したかつての自分を重ねながら思うことがありました……。

私がコーチとしてチームを作る時に考えたことは、「全員をゲームに出す」ということでした。これが大変な作業なのです。初心者や中学時代にゲームにほとんどでたことがない選手で構成されたチームなので、一つ勝つだけでも簡単ではないのですが、その中で全選手を出場させるとなるとゲーム自体が壊れてしまったり、勝てたはずのゲームをみすみす逆転されたこともあり、何度も失敗しました。勝つことにこだわるとゲームに出られずにモチベーションが下がってしまいチームを去って行く選手もいて、説得して残してもゲームの中で起用できない自分の不甲斐なさに悩んだ事もありました。

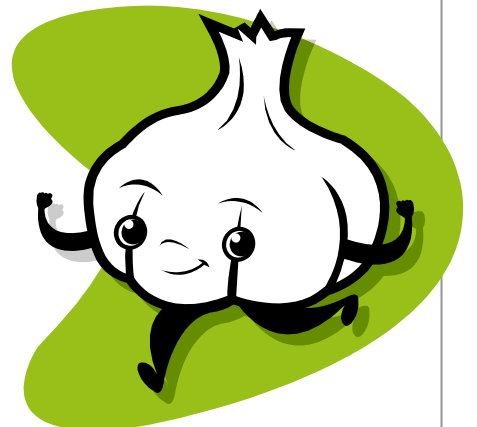
そんな時でした、偶然見ていたバレー部の練習で、セッターのトスが「なんで打てないの」「ちゃんと打ちなさいよ」と言っているように見えて、どうして「さあ、打ってごらん」ってトスを上げないんだろう。そう思った時、私の二つの間違いに気付きました。一つは、それまでの私は、自分が最強と信じるスタイルを繰り返し押しつけていただけ。二つめは、それでいて全員を使いこなそうとしていたことです。つまり無理の上に無理を重ね身動きできないでいたのは自分自身と……。

それからは、選手の個性を把握することに努めました。同じ事を同じように練習してもどうしても得手不得手はでてしまうのです。できないから使わないのではなく、できることを利用して役割を持たせること。その役割を組み込んだ戦術を多く持つこと。そして、プランを立てて目指す結果へ辿りつくための練習を組み立てること。これこそがコーチとしての私の役割に変わっていきました。

いま、私は「福祉」と言われる職に就いています。そして、グループのリーダーを任されています。個人の能力は当然大きな力であり、欠かせないものです。しかし、一人が出来る事には限りがあります。だからこそ、個性を活かしたチームが必要なのです。同じ目的を持ったチームをコーディネートすること、これが新しい私の役目なのです。そのために、物事を逆に考えてみることも時として必要なだと過去の失敗から実感しています。

スポーツの世界も福祉の世界も人と人との関わり方が最も大切であることは、まぎれもない事実であり、そのヒントは、意外と自分の傍にあるのかも知れません。

吉田 智一



# お知らせ

## 社会福祉法人訪問の家『後援会』会員のお誘い

社会福祉法人『訪問の家』後援会は、法人の理念である『どんなに障害が重い人達も共に社会の中で暮らしていこう！』という活動を応援するために作られました。ご支援頂ければ幸いです。

- \* 後援会費……年会費一口 2,000円（何口でも結構です）
- \* 申し込み……申し込み用紙が冊、又は径、桂台ケアプラザの窓口に置いてあります。
- \* お問い合わせ……TEL045-894-6611 fax892-3909（册内）

## 径の新人紹介しまーす！

各新人さんに質問形式で色々聞いてみました。

- ①径に入る前は？ ②今はまっていること ③好きな芸能人 ④持ち味 ⑤今後の抱負



氏名 荒井敏雄 ①横浜市交通局バス運転手その後交通安全協会  
所属 送迎サポーター ②ボウリング（アベレージ160）  
③暴れん坊将軍の松平健  
④素直です  
⑤和を大切に思っています。「ありがとう」「すみません」「喜んで」の言葉と笑顔です



氏名 菊地佳子 ①埼玉でヤクルトの販売  
所属 デイサポーター ②『おいでようぶつの森』（任天堂DS）  
③木村拓哉  
④明るく、めげない  
⑤毎日が新鮮なのでその気持ちを持ち続けたい



氏名 陶山麻美 ①5年間歯科助手をやりました  
所属 デイサポーター ②ハワイアンキルト  
③岩城滉一  
④いつも笑顔で体も丈夫で小中高とも皆勤です  
⑤自分らしく一生懸命頑張ります！



氏名 庄司智則 ①自動車部品の製造会社  
所属 デイサポーター ②径の利用者さんと話したり、知り合いになる事  
③みのもんだ  
④特になしでしたが、ゆめ職員に聞くと「誠実」と言う答えでした  
⑤頑張ります



### 編集後記

夏が終わり人恋しく、寂しさがひとときわ引き立つ秋が苦手です 庄司晃洋